



2026年1月13日

各 位

会社名 株式会社Gunosy
代表者 代表取締役社長 西尾 健太郎
(コード番号: 6047 東証プライム)
問合せ先 取締役 岩瀬 辰幸
最高財務責任者
(TEL. 03-5953-8030)

業績予想の修正及び配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2025年7月14日に公表した、2026年5月期通期（2025年6月1日～2026年5月31日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (2025年7月14日)	百万円 7,890	百万円 780	百万円 770	百万円 430	円銭 18.04
今回修正予想 (B)	6,450	250	360	134	5.60
増減額 (B-A)	△1,440	△530	△410	△296	—
増減率 (%)	△18.3	△67.9	△53.2	△68.8	—
(ご参考) 前期実績 (2025年5月期)	6,098	575	325	78	3.29

(2) 個別業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） (2025年7月14日)	百万円 3,475	百万円 1,750	百万円 1,740	円銭 72.99
今回修正予想（B）	2,995	1,690	1,743	72.84
増減額（B-A）	△479	△59	3	—
増減率（%）	△13.8	△3.4	0.2	—
（ご参考）前期実績 (2025年5月期)	3,672	201	341	14.23

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

(3) 個別業績予想の修正理由

2026年5月期第2四半期において、ニュースメディアアプリ全体のユーザー数は軟調に推移しており、「グノシー」をはじめとする当社運営のニュースメディアにおいても、ユーザー数が計画を下回る推移となりました。当社ではこれに対し、プッシュ通知の配信最適化などを講じ、DAUの維持に努めてまいりました。その結果、一定の改善が見られたものの、市場環境に起因する減少幅を相殺するには至らず、DAUは当初計画を下回って推移しました。第3四半期以降につきましても、足元のユーザー動向を踏まえ保守的に試算した結果、売上高は当初計画を下回る見込みです。

また、広告宣伝費や人件費を中心としたコストコントロールを継続して実施する方針ではありますが、売上高の減少分を補うには至らず、営業利益についても当初計画を下回る見通しとなりました。

当期純利益については未上場株式の売却による特別利益44百万円を計上する見込みです。

この結果、2026年5月期通期の個別業績予想を、売上高2,995百万円（従来予想比△13.8%）、経常利益1,690百万円（従来予想比△3.4%）、当期純利益1,743百万円（従来予想比0.2%増）に修正いたします。

(4) 連結業績予想の修正理由

「(3) 個別業績予想の修正理由」に記載の要因に加え、連結子会社である株式会社Gホールディングスにおいて、主要タイトル展開のスケジュール見直しが発生いたしました。これにより、売上高への寄与開始が当初計画より遅れる見込みであるため、連結業績予想を、売上高6,450百万円（従来予想比△18.3%）、営業利益250百万円（従来予想比△67.9%）に修正いたします。

また、経常利益については、営業外利益として受取利息74百万円、為替差益55百万円を計上する見込みです。

この結果、2026年5月期通期の当社の連結業績における経常利益360百万円（当初予想比△53.2%）、親会社に帰属する当期純利益134百万円（当初予想比△68.8%）に修正いたします。

連結業績に関する詳細は、本日（2026年1月13日）公表の「2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

2.配当予想の修正

（1）配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と認識しており、安定的な配当として「株主資本配当率（DOE）3%以上」を下限としつつ、投資サイドの資本から発生した実現利益の20%以上を株主還元することを基本方針としております。当期の期末配当予想につきましては、将来的な目標であるDOE 5%水準への引き上げを見据え、今期についても前期実績と同水準である「DOE 4%程度」での実施を想定しておりました。

当社は当期の業績予想を下方修正いたしましたが、今回の業績変動は一過性の要因によるものであり、翌期以降の収益回復および再成長の確度は高いと判断しております。したがって、普通配当につきましては、基本方針における下限水準であるDOE 3%に引き下げることなく、配当予想どおりDOE 4%水準を維持することといたしました。

加えて、当期の高成長オプション領域における成果として、最重要戦略投資先であるslice Small Finance Bank Ltd.（以下、slice）の極めて順調な事業進捗が挙げられます。同社は総資産規模が約1,000億円規模へ拡大し、収益性と成長性を両立したビジネスモデルを確立し、さらに直近では信用格付機関による格付見通し（アウトルック）の上方修正を獲得するなど、その企業価値は着実に向上しております。

以上を踏まえ、当社の株主還元方針に基づき、これら投資成果を株主の皆様へ還元すべく、普通配当のDOE 4%に加え、投資サイドの資本からの配当としてDOE 1%相当の特別配当を実施し、合計でDOE 5%水準の配当を行うことといたしました。なお、本特別配当の実施につきましては、当期は投資サイドから約1.3億円の資本回収が発生しているため、期初に計画しているM&A等の成長投資に影響を及ぼさない範囲であると判断しております。

この結果、当期の期末配当予想につきましては、前回予想の1株当たり18円30銭から3円70銭増額し、1株当たり22円00銭（普通配当18円30銭、特別配当3円70銭）に修正いたします。

（2）修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年10月15日発表)	円銭 0.00	円銭 18.30	円銭 18.30
今回修正予想	—	22.00 (普通配当 18.30) (特別配当 3.70)	22.00 (普通配当 18.30) (特別配当 3.70)
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2025年5月期)	0.00	18.30	18.30

以上